

令和8年度府中市立府中第三中学校授業改善推進プラン（学校全体の取組）

◎児童・生徒の資質・能力を育成するため、教育活動で特に重視する4つの視点
➡ 【発見すること】【対話すること】【決定すること】【表現すること】

1 現状及び課題等

(1) 学習改善の視点（生徒の学び方）

- ①「全国学力・学習状況調査」において、国語の「話すこと・聞くこと」の正答率が「書くこと」の正答率と比べるとやや低い。
- ②校内での授業アンケートにおいて、家庭学習に毎日取り組んでいる生徒は約7割に留まっている。
- ③「学びに関する力等に関する意識調査」において“自分が考えた事を積極的に他の人や先生に伝えようとしている”に否定的な生徒が4割強いる。

(2) 指導改善の視点（教師の指導方法）

- ①「全国学力・学習状況調査」の結果を踏まえ、教員の授業研究に関する教科部会及び校内研修を充実させる。
- ②校内での学校評価アンケートの結果を踏まえ、各教科において補充的な学習サポートに関する取り組みを充実させる。
- ③「学びに関する力等に関する意識調査」の結果を踏まえ、授業内で仲間と考えを共有しあい、多面的に問題をとらえる機会を充実させる。

2 学校全体で目指す授業像

(1) 目指す生徒の学びの姿

- ①主体的に学習に取り組み、話し合い活動を通して自分の考えを深めたり広げたりすると同時に、仲間も尊重できる生徒。【表現】
- ②自らの課題を意識しながら家庭で学習する時間を設け、すすんで学習できる生徒。【発見・決定】
- ③仲間や先生に自らの考えを伝え、仲間の意見を傾聴し合意形成することができる生徒。【対話】

(2) 目指す授業像

- ①先生や仲間の話を聞いた上で、ICTの活用を含め、生徒自らがまとめた考えを発表できる授業。【対話・表現】
- ②生徒が困っている状況を個々に把握し、それぞれに助言したり、学習課題を提示したりして、基礎学力を定着させる授業。【発見】
- ③他者との交流の中で自分の考えを深める時間を、意図的、計画的に位置付けた授業。【決定】

3 学校全体で取り組む授業改善の具体的な取組

(1) 各教科における授業改善のポイント【全学年共通】

国語	・話し合い活動を通して、生徒自身が自分の課題を発見したり、課題解決のために自分の考えを広げたりできるような時間を設ける。【発見・対話】 ・作文の指導を通して、自分の考えを適切な言葉と表現によって他者に伝えることができる力を育成する。【表現】	美術	・鑑賞の時間、構想を練る時間、話し合いの視点を明確にしてお互いの考えを交流し、全体に発表する機会を設ける。【対話・表現】 ・仲間の制作方法や問題解決方法に気付き、自分の作品制作に生かせる授業展開の工夫。【発見】
数学	・習熟度別授業を生かして個に応じた反復指導によって、基礎的な知識や計算能力を定着させる。【発見】 ・発問や記述、グループワークの中で、課題に対しての自分の考えを言語化する場面を設定する。【表現・対話】	技術	・課題解決の過程を記録し、振り返りや発表活動を通して学びを整理・共有することで、主体的な学習を促進する。【発見・表現・決定】
社会	・ICTを活用しながら必要な情報を自ら収集し、まとめる。また、グループ活動を効果的に実施したり、学習課題の工夫をしていき、まとめた内容や自身の考えを発表できる時間を設ける。【表現・対話】	家庭	・知識の習得だけではなく、体験的・実践的な授業を通して「実生活でどう活用できるか」を考え、まとめたことを発表したり、共有する時間の充実。【対話・表現】
理科	・結果の考察について、話し合いを通じて自分の言葉で考えをまとめる時間を設ける。【対話・表現】 ・主体的に科学的な課題を見付け、解決しようとする態度を身に付けられるよう、日常生活や既習事項とつながる授業展開を図る。【発見、表現】	保健体育	・実技において、自分の動きの特徴を的確にとらえる機会が多い授業展開の工夫。【発見】 ・自分や仲間の良さや課題を表現する経験値が積みあがる指導の充実。【対話・表現】
音楽	・ねらいを明確にして自己の課題と向き合い、基本的な演奏技術（技能）を身に付けさせる授業展開の工夫。【発見】 ・互いに意見を出し合うことで、知覚・感受したことや表現について再考し、思考を深める活動の充実。【対話・表現】	外国語	・会話練習や、発表など自分の意見や考えを表現する時間を多く設ける。【対話・表現】 ・生徒の理解度や困っている状況を把握し、それぞれに助言したり、更に課題を提示したりして基礎・基本を定着させる。【発見】

令和8年度府中市立府中第三中学校授業改善推進プラン（学校全体の取組）

（2）生徒用タブレット端末の活用【市共通】

- ・生徒が思考するための情報収集や、お互いに意見交換したりする場面で活用する。【対話・表現】
- ・板書やワークシートとタブレット学習とを適切に組み合わせながら、理解を深める場面で活用する。【発見】